

乳児健診・予防接種

里帰り出産にも助成へ 一歩前進!

里帰りなどで府外・市外で乳児健診・予防接種を受けた場合に堺市はその費用の助成をしていません。どこで受けても堺の子供なのだから堺市内で受けるのと同様に助成するよう求めてきました。

この間の質疑を経て、当局が調査を約束し、その結

循環バスを復活させ

桃山台住区からも泉ヶ丘駅行直行バス

梅地区・光明池地区の各住区から泉ヶ丘駅行のバスが運行していますが、桃

山台住区だけがないため、是非運行して欲しいとの声が寄せられています。



先の議会でこの問題を取り上げました。

桃山台地区は、他の住区と違い「循環バス」が運行していないことが理由の一つに挙げられました。

桃山台は駅に近く通勤などのバス利用者が少なかつたために廃止になったようです。

しかし現在は、高齢化が進み徒歩や自転車で駅に行くのが困難な方が増えてい

ます。

循環バスを復活させれば以前と違い利用者が増えると考えられます。

泉ヶ丘駅行を実現するよう南海電鉄への要請を求めました。



政党助成金を手にして消滅した諸政党

新進党(283億円) 自由党(131億円) みんなの党(65億円) 日本維新の会(46億円) さきがけ(31億円) 国民新党(27億円) 自由連合(18億円) 民主改革連合(16億円) 参院クラブ(16億円) 新党平和(15億円) 改革クラブ(15億円) 新党日本(11億円) 保守党(10億円) たちあがれ日本(4億円) 自由連合(4億円) 民政党(4億円) 第2院クラブ(4億円) 保守新党(4億円) 新党友愛(3億円) 太陽党(3億円) 新党きずな(2億円) 結の党(2億円) 新党大地(1億円) 新社会党(9千万円) 市民リーグ(8千万円) みどりの風(8千万円) 平和市民(6千万円)

計721億円
(1億円超は四捨五入)

(政党要件落ちも含む)

赤坂台近隣センター スーパー撤退 トランクルームに!

昨年9月に赤坂台近隣センターのスーパーが撤退してトランクルームにかわりました。

「このままでは住めない」「家売って駅近くに住め」と子どもが言う。既に引越した人もいる」とのことです。

高齢化が進み買い物もままならない状況で近くのスーパーがなくなるのは高齢者にとって死活問題です。特に、毎日欠かせない野菜を供給する必要があります。

近隣の美木多・上神谷の農産物を供給できないかとの提案をしました。

ニュータウン近隣センター開設時16箇所あったスーパーが今回の赤坂台を含めて7箇所撤退しています。

これは、赤坂台だけの問題ではありません。ニュータウン全体の問題であり、旧村も含めた南区全体の課題です。自治体と住民が一体となった取り組みが必要です。

日本共産党は、先の衆議院選挙で躍進させていただき議案提案権を獲得しました。

この提案権を行使して、政党を堕落させる政党助成金制度を廃止する法案を通常国会に提出します。

毎年320億円交付される政党助成金は制度開始から20年間で6311億円にもなります。

受け取った政党が35党。この間に30の党ができ27党が金を手にとり理念や政策そっちのけで離合集散を

政党助成金廃止法案提出

日本共産党国会へ

む政党助成金は政治の腐敗・堕落をもたらしています。

「身を切る改革が必要」といいながら、最悪の特権である政党助成金

には一切触れません。憲法に違反し、国民の税金にどっぴりつかっていきながら、国民には増税を押し付ける、こんなバカな話はありません。「身を切る改革」論は議員を減らすから増税をガマンせよという「増税押し付け」論です。しかも削られるのは民意が一番反映される比例だけです。国民の声が益々届かなくなります。切られるのは国民の暮らしと民意です。政党助成金を廃止するために全力を尽くします。